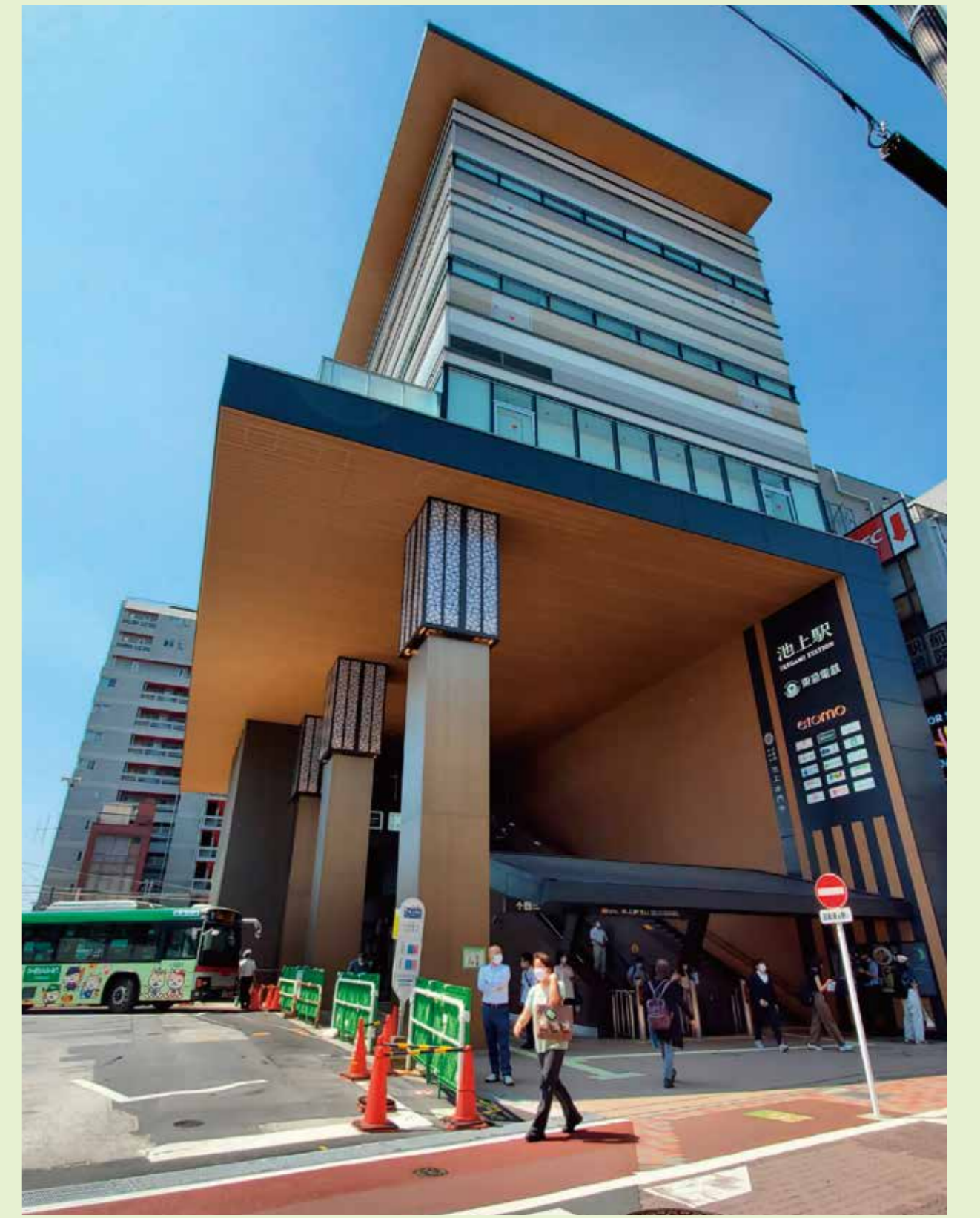


まだ、再開発しますか？

大田区にも、少子高齢化、人口減少が確実に訪れます。これまで、多くの地域で進められてきている事業者任せの大規模再開発でなく、むしろ低層で緑地やオープンスペースの確保された住み続けられるまちを描きませんか。国際都市を標榜するよりは、緑と水辺空間を活用した田園都市をめざすことによって自然災害を減ずることが可能になります。開発志向が自然災害を生んだ過去を見直し、自然や緑の豊かなまちを考えてみましょう。



交番の取り壊し工事中

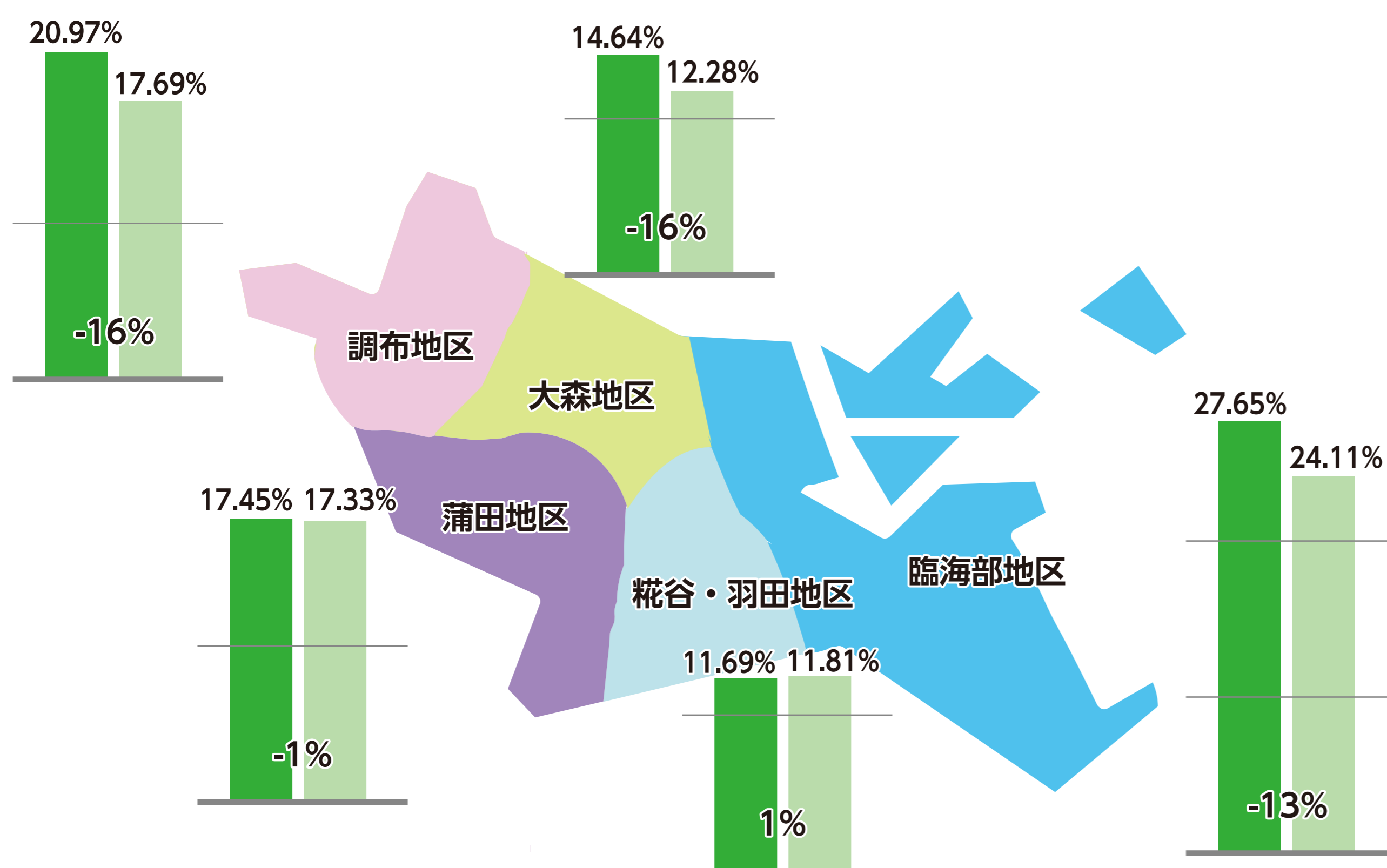


池上駅舎改札は2階に

都市計画での再開発ってなんだろう？

- ・ 経済効果と言われるが、事業者の利益優先になっていないか？
- ・ 防災耐震建築と言われるが、人が集まることで高密度になり、むしろ災害リスクは増大する！

再開発名目の事業で、結果として緑地が減少している！



10年間で緑はどう変わった？
- 緑被率を比較 -

■ 平成 21 年
■ 平成 30 年

	平成 21 年緑被率	平成 30 年緑被率	増減率 (%)
大森地区	14.64	12.28	-16%
調布地区	20.97	17.69	-16%
蒲田地区	17.45	17.33	-1%
糎谷・羽田地区	11.69	11.81	1%
臨海部地区	27.65	24.11	-13%
大田区全体	20.47	18.32	-11%

チェックしてみてね！

公園の広さは世界の都市ではどうなってるの？
下にあるQRコードあるいはURLで！

団体紹介

住むコトの紹介

私たちは「大田区を住みよくするには何が出来るか」をテーマに勉強会を始めて2年、毎月1回集まり都市計画や建築関連法の課題、再開発などについて意見交換をしています。

東京都の1人当り緑地面積は、世界主要30都市で25位、大田区は都内12位で多摩川河川敷を除くと公園など極めて少なく、積極的に緑地を増やす必要を感じております。

また再開発の事例については、品川区東大井・葛飾区立石・港区泉岳寺の関係者を例会に招いてお話を聞きました。大田区のいくつかの再開発計画が、今後の人口減少なども勘案し、住民や利用者のニーズに見合っているのか、大田区の将来を皆さんと一緒に考えたいと思います。

団体名：住むコト

URL： <https://thinksumucoto.wixsite.com/sumucoto>



これからの「まちづくり」を考えよう

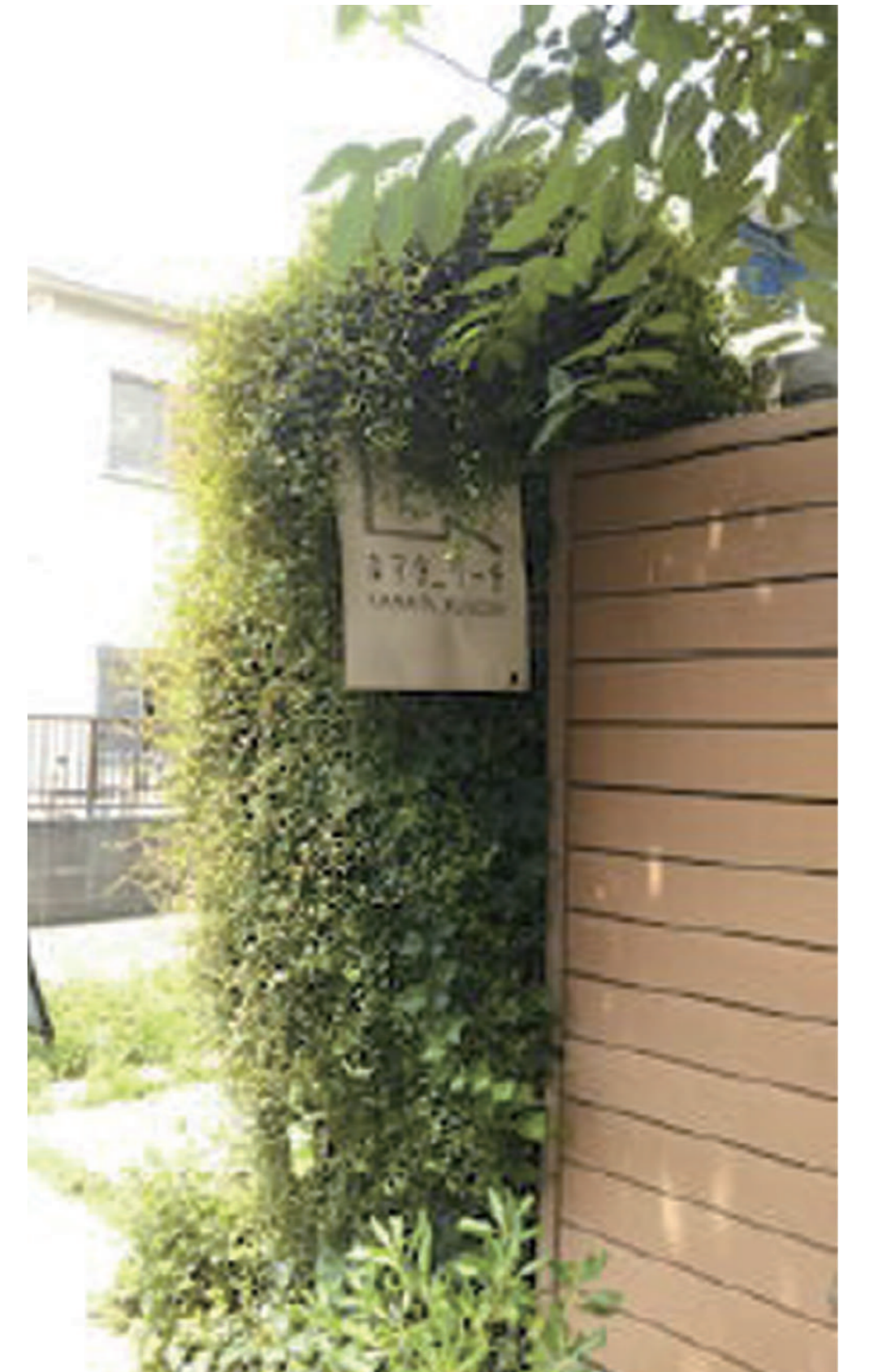
住宅街での小さな試み

都市計画というと大規模再開発が登場しますが、見直しませんか？

気持ち良いまちづくりの試みとして、小さな空き地づくりが、新しい「まちの価値」を生みそうです。「クーチ」と名付けられた住宅街の中の空き地をつないだ空間をみつけました。

「クーチ」は大田区蒲田で地域の不動産の新しい活用を提案している@カマタの実践例の一つです。木造空き家や3階建てマンションをSOHOやオフィスに変えて、周辺の路地や空き地をつないだ緑のスペースが広がっています。

狭い路地が、災害時のネックにならないためにも、緑のスペースが少しずつでも連結することで心地良い空間になります。空き家問題が増え、「緑」の面積が減り、生産緑地が消える前に、まちのこれからを考えてみましょう。



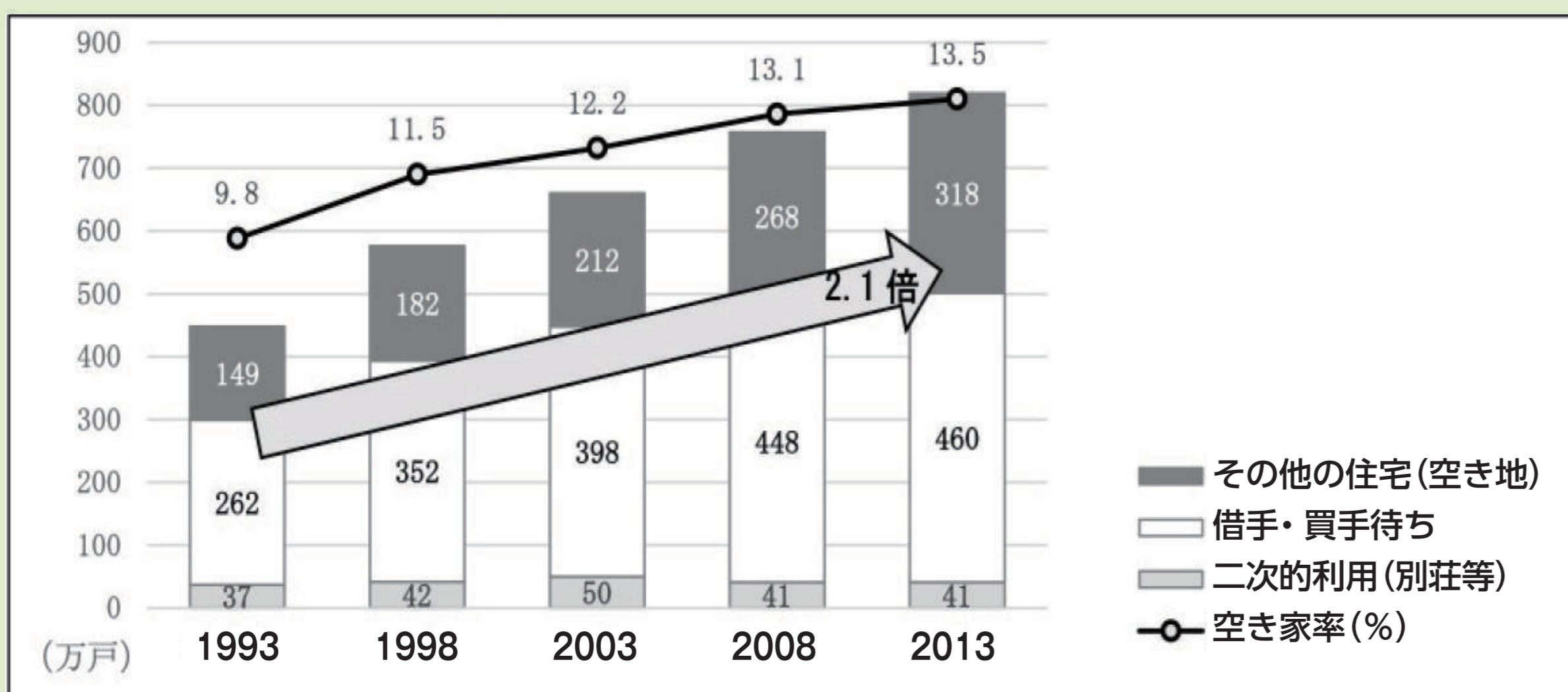
「クーチ」入口

空き家問題とは？

総務省では5年ごとに全国の自治体における空き家対策について実態調査を行っています。

空き家には、その性質によって「賃貸用または売却用の住宅」、「二次的住宅」（別荘等）、「その他の住宅」があり、ここで問題となるのは、「その他の住宅」です。これは、転勤、入院、死亡、転出などのために居住世帯が長期にわたって不在の住宅や、建て替えなどのために取り壊すことになっている空き家を指します。

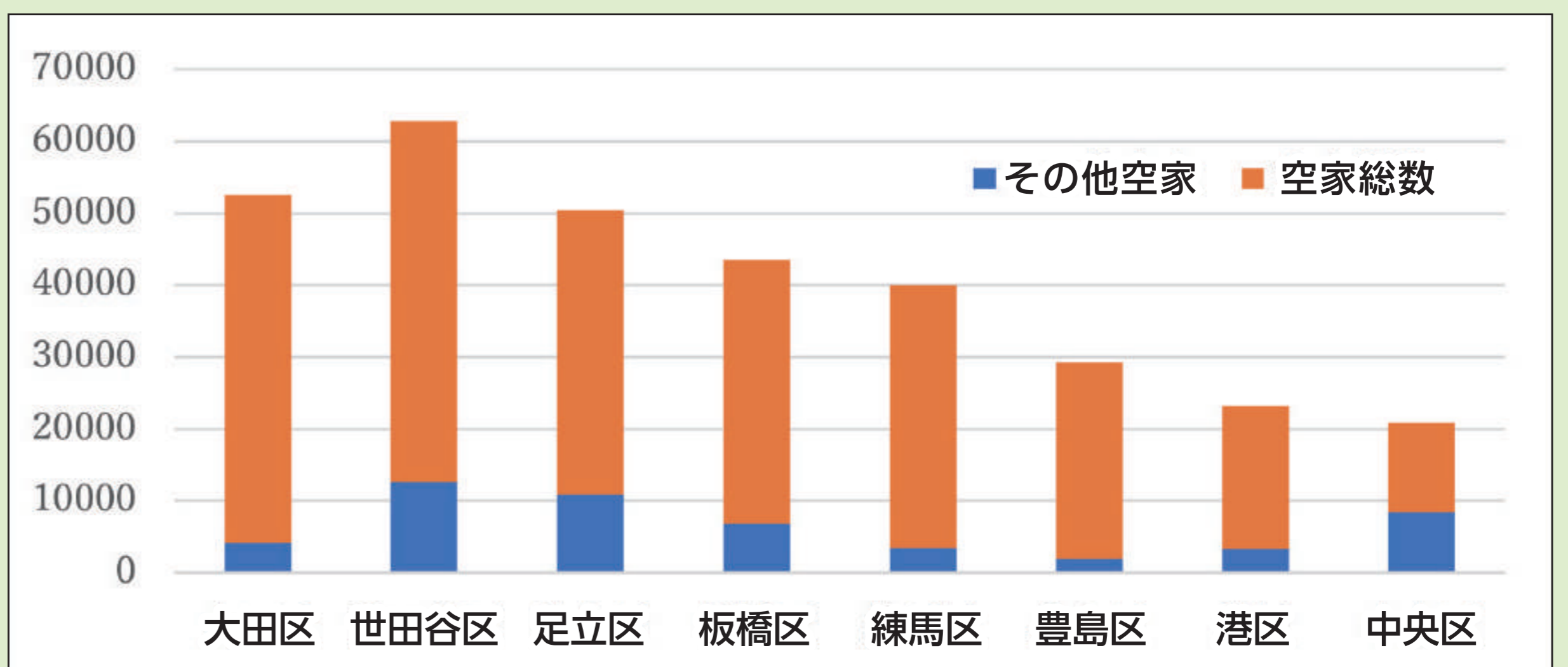
空き家の種類別戸数と空き家率の推移(平成5～25年)



(注) 住宅・土地統計調査の結果に基づき、当省が作成した。

総務省「空き家対策に関する実態調査 H31.1.22 より

空家総数に占めるその他空家



東京23区を比較(抜粋)

総務省統計局平成30年住宅・土地統計調査(調査の結果を元に当会にて作成)

まずは一歩から

蒲田の木造密集地域に放置されていた廃屋とその周辺を見事に蘇らせ、人々が自由に使えるスペースを確保したカマタ_クーチ。まちの隙間をさまざまな活動やつながりを創り出す可能性のある空間にするという挑戦です。

町工場が多い「蒲田のまち全体を、クリエイターのシェアオフィスにしたい!」という連 勇太郎さん(@カマタ、NPO法人モクチン企画)にお話を聞きました。

「クーチ」の成り立ちはこちらから→



人口減少に向かう時代、これからはどんな「まちづくり」を目指すべきなのでしょう。私たちの提案は、壊すのではなくリノベーション(小さな改修)による建物の再活用や長寿命化、そして歩いて気持ちの良い、暮らしに寄り添ったまちづくりです。



カマタクーチの緑の空間

団体名：住むコト

URL：https://thinksumucoto.wixsite.com/sumucoto

